

名前：

20世紀に入って世界はもっと広く変わりつつあります。今はもうインターネットさえあれば米国とか他の外国の顔も知らない人とも会話もできるし、いろいろと便利になったと思います。こんな生活になれてしまったわたしたちはたぶんインターネットがなくなってしまうたら一日も耐えられなくなると思います。しかしインターネットだけあればそれでいいとかその以外、例えば新聞や雑誌など必要ないとかは思っていない。新聞や雑誌を“読む”というこういう自体を私は楽しんでるからです。紙に書いてある活字一つ一つがいろいろな意味をふくんでいると思うし、その内用にいつの間にか夢中にさせられる“力”を持っていると信じているからです。そういう経験を私はインターネットで見付けたことがありません。私の場合、インターネットはいろんな人と出合ったりコミュニケーションをするため、そして必要とされる情報を探すための時によく使いますがふかい感想とかはもと

めていません。はっきり言って、インターネットで“見る”内用と新聞や雑誌で“読む”内用は私にはなんか違う感じを与えてくれるのです。だから私が言いたいのはちゃんと新聞にだけ感じられる感想、または雑誌などで楽しめる「ミリョク」を無視してただ便利だからとか新しいものだからとかのリゆうで必要ないとか決め付けるのはよくないと思います。だから新しいものがふえてそれを優先しようとするのはいいんですけど、だからといってそれでいい、またはもう昔に使っていたものは必要ないと考えてしまうのはもったいないかなと思います。私はこれからもうインターネットだけ得られる楽しみだけでなく新聞や雑誌で得られる楽しみもちゃんと得られるといいと思います。